

「権威に対する従順」

～良心はすべてを示す～

ローマ書 13章 1-7節

■ あなたにとって「権威」とはどのようなものですか？

私たち日本人が最初に権威を感じる相手は多くの場合、親からです。しかし、私たちがもし理不尽な扱いを受けたうえで親から権威を振るわれていたならば、「権威」に対して嫌な思いがするかもしれません。

しかし、今日学ぶ本来の権威はそのようなものではありません。ローマ書 13章 1-7節を通して、権威とはなにか、なぜ私たちはそれに従うのかをみことばを通してみていきましょう。

■ ①すべての権威は神によって立てられている

ロマ 13:1 に『人はみな、上に立つ権威に従うべきです。神によらない権威はなく、存在している権威はすべて、神によって立てられたものです。』とあります。

このみことばにある「人はみな」とは、私たちにとって税金を払うという義務を果たすべき必要がある者みな＝国民全てという意味が使われており、キリストを信じている人であってもそうでない人であっても全ての人権が権威に従うべきであるとされています。なぜなら権威は全て神によって存在し、神によって立てられた者に与えられるものだからです。そして、神から私たちはこの命令に従うように言われています。

■ ②自分自身の祝福のため

なぜ神様は全ての人に権威に従うべきだと言ったのでしょうか。それは全て私たち一人ひとりの祝福のためです。私たちには義務を果たしてはじめて権利が生まれます。それは申命記をみても分かるように、神様は私たちに「こうしたら、こうなる。」という形で人々の生き様を通して私たちが歩むべき道を教えてくださっています。

権威に背くことは神の定めにも背くことであり、そのことで私たちはこの身に裁きを招くこととなります。裁きと聞くと私たちは罰を思い浮かべがちですが、神の裁きは、良いか悪いかを判断してくださるものであり、もし私たちが神の目から見ても良いことを行ったなら、良い裁き（祝福、報酬）を受けることになり、悪いことを行ったのなら私たちは悔い改めを行う必要があります。

ロマ 13:3 前半に『支配者を恐ろしいと思うのは、良い行いをするときではなく、悪を行うときです。』とありますが、私たちがもし普段から自分の心の中で悪いと思いつつも行っていることがあるとすれば、それが明るみに出ることに恐れを覚えます。あなたの中に神様に隠しておきたい行為、悪いはないのでしょうか？

13:3 後半には『権威を恐れたくないと思うなら、善を行いなさい。そうすれば、支配者からほめられます。』とあり、神様はあなたの祝福のため、そのような悪を捨てて善を行いなさいと言われてい

ます。自分自身の歩みを振り返ってみましょう。

■ ③良心のため

ロマ 13:15 に『ですから、ただ怒りが恐ろしいからだけでなく、良心のためにも、従うべきです。』とあり、この良心が私たちの判断基準となります。

良心とは、この世の道徳的な考え方ではなく神の思いそのものです。あなたはいつも神様の心、神様の判断基準をもって物事をみているでしょうか？それを判断するには、あなたの行為が自分のために行っていることか、本当に相手を愛して行っていることかで分かります。

例えば自分の立場が悪くなるだろうと、自分のやったことが否定されようとも、神様の基準はいつも愛に立ち返るものです。聖書の中にあるナアマン將軍としてもべとのやりとりもその一つです。しもべがナアマン將軍に願い出たことはその時代であれば殺されても仕方がない行為でした。しかし、主人の行動が間違っていることを感じ、主人を愛するが故に心を尽くして向き合ったことが、最後には良い結果をもたらしました。

もし自分の上司にあたる人が聖書のみことばを基準にみて間違った行為をしていたとしたら、あなたはどのような態度をとるのでしょうか。確かに権威ある人たちは神によって立てられました。しかし、上司の言うことだからと無条件に従おうとすることは決して神の良心に従うことではありません。

『すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。(ヘブル 12:11)』

この世にはその時は否定され、後の世で正しい判断であったと認められることもあります。それでもなお、私たちが大切にすべきは、自分の価値観ではなく、聖書で伝えている神の良心を求めると、そしてそれに従うことなのです。

まとめ

今年も残りあと1か月となりました。これからも、私たちが生きるこの世の中に間違った権威をたくさんみることがあるかもしれません。また、私たちの周りにはいつも間違った判断をさせようとする誘惑があり、私たち自身がその誘惑にのって人を裁いてしまう時があるかもしれません。しかし、今日、私たちは本当の権威を学びました。神の権威、神の判断は私たちに回復をもたらします。ですから私たちは自分の思いによらず、神様の権威に従うことを選び、新しい年を迎えましょう。

(要約者:平澤 瞳)

(2019年11月24日)